

# 4-3

## 余裕教室の特別支援学級等への転用

千葉県

### 香取市立佐原小学校

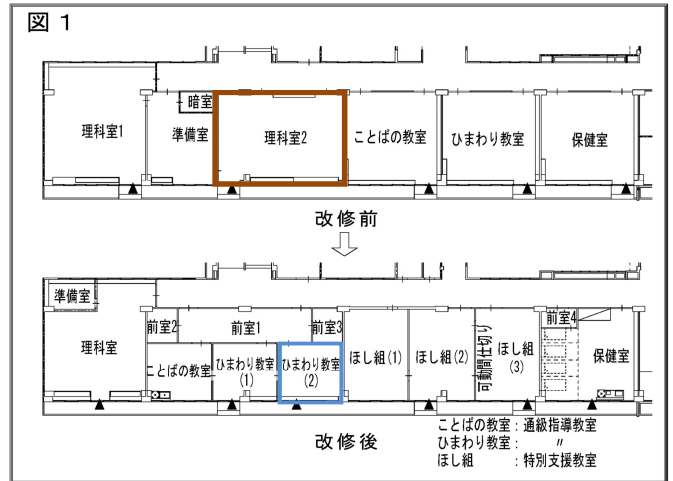


改修前  
(理科室)

#### 1：背景

香取市立佐原小学校は、一時は約2,000人の児童が在籍していたこともあるが、現在は約950人程度まで児童数が減少しており、余裕教室が多くなっていった。

そこで、3棟ある校舎のうち市道を挟んだ別敷地にある1棟は、通常の授業では使い勝手が悪いため、放課後児童クラブのために活用することとした。また、通常授業を行うことになる2棟のうち1棟は、これまで大きな改修履歴がなく、老朽化が顕著であったため、耐震補強工事と併せて老朽改修工事を行い、その際、使用頻度の低い教室を特別支援学級等に転用した。



#### 2：取組内容

##### 余裕特別教室の転用

従来の通級指導教室は、普通教室であった余裕教室を改修を伴わずに転用したものであり、使用実態に比して過大規模であった。そこで1階に2室あった理科室を、使用頻度が少ないため1室とし、理科室と理科準備室を通級指導教室3室に改修した。当教室には他校からも児童が通っているため、前室を設けて保護者が待機できるようにした。

また、特別支援学級のうち1学級は1階、2学級は別棟の校舎に位置していたが、従来の特別支援学級と通級指導教室を特別支援学級3教室に改修した。このうち2教室の間の間仕切りを可動とし、授業形態や学級規模に柔軟に対応できるようにした。



改修後（通級指導教室）

##### 教室配置の見直し

余裕教室の転用に伴い、これまで無計画であった教室配置を見直し、使用頻度の少ない特別教室を普通教室や通級指導教室へ転用するなどして、教室配置を整理した。その結果、これまで別棟の校舎に教室があった学級も含めて全学級が同一棟の校舎で学ぶことが可能になった。

#### 3：特に留意したこと

余裕教室の転用及び教室配置の見直しを行った際に、学級数の増加による不便さや窮屈さを生じさせないように、実際に使用している教職員の声を聞いた。その際、「蛇口の数を増やしてほしい」「トイレの個数を増やしてほしい」

といった、休み時間に児童が集中的に利用する施設についての意見が多く出たため、設計に反映させた。

また、通級指導教室については対象児童数が年々増加していたため、増設して今後も増加が予想される通級指導に対応できるようにした。

#### 4：成果と課題

今回の改修は、余裕教室の転用を目的としており、校舎を1棟減らすと余裕教室が少なくなってしまうおそれもあったが、理科室を通級指導教室に改修することなどにより、教室を集約することができた。

しかし、通級指導教室は遮音性が十分とは言えないため、個別指導で静かな授業環境化では隣室からの音が気になる状況である。大規模改修における少人数指導対応教室の整備においては、少人数ならではの教室環境を考慮した施設計画が重要である。



普通教室



カフェを模した実習室

## 4-4

### 廃校となった高等学校の有効活用

東京都

## 東京都立永福学園

### 1：背景

東京都教育委員会では、都立永福高等学校（以下「永福高校」という。）を平成9年9月に策定した「都立高校改革推進計画」に基づき、平成16年3月に閉校した。

一方、都立永福学園を平成16年11月に策定した「東京都特別支援教育推進計画」に基づき、知的障害が軽い生徒全員の企業就労の達成を目指す新しいタイプの高等部職業学科（就業技術科）（以下「職業学科」という。）と肢体不自由教育部門を併置する特別支援学校として設置することにした。

同学園設置に当たっては、旧永福高校の校舎を活用して設置することにした。



職員室



改修前（旧調理室）

特別教室の旧排水設備を活かして、厨房やカフェなどに改修した。

工事費用：3,939,745千円

（改修面積：8,424㎡、増築面積：7,781㎡）

### 2：取組内容

旧永福高校の校舎は耐震補強工事も含めた改修工事を行い、職業学科が利用する普通教室、職員室などを整備した。その際、旧永福高校のエントランススペースを採光と広さが十分に取れた保健室に改修し、階段教室形式の視聴覚室を1学年100人の生徒の集会ができる場として現存させるなど、既存校舎の利点を最大限有効に活用した。

また、旧永福高校のグラウンドなどの敷地に、職業学科が利用する職業実習室などを設置するとともに、肢体不自由教育部門を併設するための増築工事を行った。

### 普通教室

職業学科の普通教室については、1学級の定員数である10人分の広さ及び3学年合わせて30学級分の教室の確保を考慮して、改修前、40人学級用だった2教室（各8.7m×7.8m程度）を分割して3教室に改修した。

### 「働く場」を想定した実習室

職業学科の卒業生が、企業にとって即戦力として期待されるように、将来の就職先を想定した職業教育コースを設け、職業実習室の設置に当たっては、旧永福高校の

### 3：特に留意した点

旧永福高校の校舎を、特別支援学校として活用するため、全教室に空調機器を整備するとともに、段差を減らすなどのバリアフリー改修工事を行った。

### 4：成果と課題

既存施設を改修することにより、校舎解体費用・躯体工事費用を抑えることができた。

しかし改修後5年が経過した現時点では、改修を行わなかった地下に埋設された水道管などが老朽化し、その対応が課題となっている。

